

世界かんがい施設遺産

みなみはら あなぜき

南原穴堰

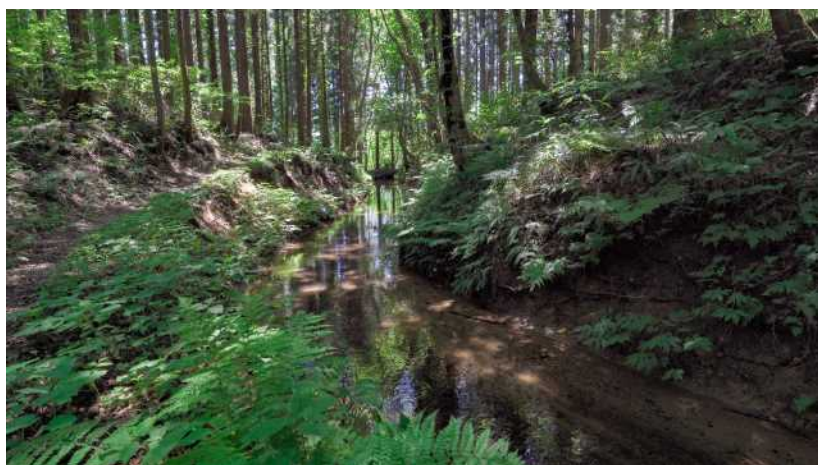
〔宮城県大崎市〕

Minamihara-Anazeki Irrigation Canal

山間地の荒地を知恵と技の巧みな水管理で、約380年続く農村に変えた生きた遺産



- 山間地の人も住まない荒地に、約380年前に手掘りの隧道1,330mを含む用水路1,880mを築造し、水稻が生産され、農村が生まれ、暮らしを守り続けている重要な水管理施設である。
- 高低差5mの緩い勾配の中、夜間の松明の灯りをたよりに、対岸の山からの指示で、岸壁に杭打ちを行い測量し、隧道を掘削した知恵と技術。
- 崖から横穴「狭間(さま)」を掘削し、狭間から隧道を掘削したが、狭間から岩石を排出した他、水の力で隧道内の土砂払いができる巧みな仕組み。
- 約380年前の手掘りの形状を残した生きた遺産を、地域内外の人々が協働で守りながら活かしている。



穴尻（隧道出口）から続く開水路



約380年前の手掘りの形状が今も残る



「狭間(さま)」隧道の横穴
隧道の土砂が水力で排出



穴尻から田んぼまで続く開水路の土砂払い作業



「穴口」隧道入口



「穴尻」水が湧き上がるように出る